



One きふね

今年も幸多い年でありますように

済生会貴船福祉ケアセンター
所長 伊藤 弘行



今年こそ良い年が迎えられるように初詣に行きました。密を避けるため2日に参拝しましたが、例年に比べ参拝者が少なく、いつもの賑わいを感じられませんでした。

神社でも手水舎が使えなかったり、鈴が取り除かれたり、参拝の間隔を空けるなど万全な感染対策が取られていました。

初詣は平安時代から伝わる年籠りという風習だと言われ、大晦日の夕方から元旦の朝にかけて氏神様のいる神社にこもり新年の豊作や安全を夜通し祈っていたそうです。その後、江戸時代には元旦だけのお参りとなり、好みや思い入れのあるお寺や神社にお参りに行くようになり、現代に繋がっているようです。

さて、年末にはこのまま終息するのではないかと、かすかな期待を抱いていた新型コロナウイルスですが、年が明け新たなオミクロン株が日本でも猛威を振るい、連日新規感染者数が更新され、日常生活にも大変な影響を与え、いつ誰が感染してもおかしくない状況になっています。

当園でも万全の対策を講じ、園内に持ち込ませない事を第一に、面会の禁止やフロア間の移動禁止を決断しました。また、検査キットを購入し、少しでも異常のある職員には、迅速に検査できる体制を構築しています。

ご家族関係者の皆様方にはご迷惑をお掛けいたしますが、関係者一同が協力し、この難局を乗り越え、安心して安全な毎日が送れることを切に祈ります。



●目次

所長あいさつP1
行事写真P2.3
セピア色の風景P4

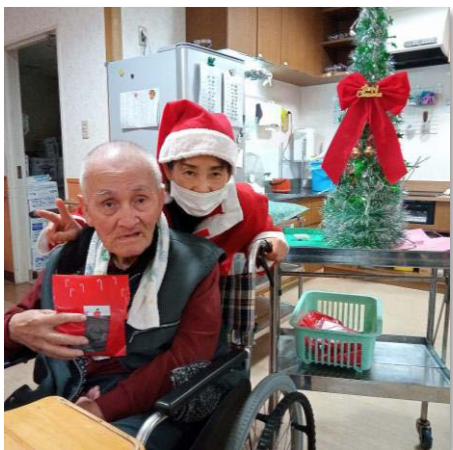
栄養管理室だよりP5
デイサービスだよりP6
ショートステイだよりP7
研修風景、感染対策
編集後記P8



貴船園 写真館

新型コロナウイルスの流行により、密接や密集を避ける行動が求められる日々が続いています。外出や大人数で行うアクティビティの制限をしたりと、行事も以前のまま実施できることが少なくなっています。そうした中、感染予防に注意しながら、敬老会やクリスマス会を実施しました。





セピア色の風景 ～映画のように綺麗な余韻で～

「人に迷惑をかけない！」

たけだ のりお
竹田 憲生様 昭和9年5月2日生 87歳

今回のセピア色の人生は、特別養護老人ホーム入居者の竹田憲生様をご紹介します。今年で88歳(米寿)を迎え、いつも穏やかな表情で私達に微笑みかけて下さいます。次女様と一緒にインタビューさせて頂きました。

昔、どういったお仕事をされておりましたか？

「消防士」（誇らしげな顔をされる）

「特に仕事面では、懸命に人の命を守るために一生懸命やってきた。中でも一番大変だったのが、漁船の火事だった。消火するために、水をまきすぎても船が沈んでしまうから大変だった。いまだに忘れる事が出来ない消火活動だった。」と、話をして下さいました。人望があり周りの方々に恵まれていてやりがいがあったそうです。そして、楽しかったとおっしゃっていました。

そんなお父様に育てられた次女様は

「男気があって、仕事熱心で面倒見が良く人から頼られる父でした。人に迷惑を掛けないようにと幼い頃から教わっていました。仕事が忙しく家族で過ごすことはあまりなかったのですが、まじめに仕事に向き合う父の姿はとても自慢でした。」と、話されていました。

そんな竹田様が幼い頃に子供達のおやつによく作ってくれていたのが、焼き芋でした。次女様は、お父様が作ってくれる焼き芋が大好きでした。その事をお父様に忘れて欲しくなく、焼き芋を差し入れされています。今ではおやつで、その焼き芋を食べることを楽しみに園での生活を送っています。

これからも、お元気に楽しく過ごす事が出来ますように職員一同お手伝いさせて頂きます。ありがとうございました。

貴船園特別養護老人ホーム
介護職員 宮崎 史也



家族で記念撮影



消防士時代の様子

おいしい生活！栄養管理室だよ！

令和3年4月から部署名が調理室から『栄養管理室』に変わり、新たにスタートを切りました。

栄養管理室は管理栄養士2名、調理職員5名、パート職員10名の17名が在籍しています。仕事の主な内容としては、皆さんご存じの通り貴船園のお食事、栄養管理を一手に担っています。

近年では衛生基準も一層厳しくなり、コロナの影響によって食材の高騰、流通問題等色々と頭を悩ませる事が多い日々が続いていますが、厨房は待ったなし。365日何があってもお食事の提供に努めます。厨房は毎朝5時より稼働し、朝食の準備は2名で行われるため厨房は大忙しの毎日です。ㄥ(◎Д◎v)ノ

「美味しい」と言ってくださる利用者様の笑顔が私達の栄養剤です。

調理職員 藤田絵美



主任のつぶやき・・・

これまで、多くのご利用者様のお食事に携わってまいりましたが、これで良かったのかと自問自答する毎日です。

今回の介護報酬改定で、栄養管理の重要性や介入の場が広がり、管理栄養士も幅広い活躍の場を設けられました。

利用者様一人一人が「自分の口で食べる喜び」を感じ、日常を健やかに過ごせるようサポートに努め少しでも施設にきてよかったと思って頂けるよう職員一同協力し、取り組んで参ります。



栄養管理室主任
河井千鶴

コロナと鬼を退治だ！デイサービスだよ

節分は、「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味をこめて悪いものを追い出す日。いつまでも落ち着かないコロナも皆さんのパワーでやっつけましょう！

「鬼は外！福はうち！」のかけ声と共に豆をまいて鬼とコロナをやっつけましょう！

楽しみながら今の季節を感じて頂けるよう、活動を計画しています★

デイサービスに来た鬼は人質を捕ろうとするので、杖で対抗する姿など楽しい姿を見ることができました！！

★クリスマス会★制作レクで作ったツリーを飾ってケーキの飾りつけ♪見たことある顔のサンタも登場です！



♪コロナで制限があっても楽しめる事はたくさんです♪

情熱発電所！ショートステイの日常風景

ショートステイでは、1日最大20名の利用者様が生活されており、午前と午後
に体操・工作・ゲーム等のアクティビティを行っています。また、利用者様と一
緒に季節に合わせた作品を作ってリビングに飾ったり、唱歌・懐かしの流行歌を
合唱やカラオケで歌って楽しんでいます。機能訓練を担当する職員と歩行練習等
も行い機能維持に努めています。





研修の風景



令和3年12月23日(木)貴船園デイサービスセンターにて山口県立下関南総合支援学校高等部専攻科の生徒さんによるマッサージ実習が行われました。職業課程の施術実習では、あん摩マッサージ等技能向上を目的として、デイサービスの利用者3名及び職員3名に対し、1人当たり25分程度を目安に実施しました。利用者さんからは、「慣れた手つきやったから安心してマッサージうけたよ」や「初めてやったよ。ありがたいね(最高齢102歳の利用者さん)」など、また機会があったら是非お願いしたいなどの言葉をいただき、とても喜ばれていました。

事務管理部 藤岡 みゆき



基本の感染対策を徹底しましょう

正しくしっかり
マスクを着用

今まで以上に換気

人と人との距離
に気をつける

3密のいずれも
避ける

密集 | 密接
|
密閉

マスクを着用していても、話す時間は
短く、大声は避ける

体調不良時には、出勤・登校せず、必
要な場合は受診を



デイサービスの風景 (玉葱植え)

編集後記

ロバを連れながら、夫婦二人が一緒に歩いていると言われます「ロバがいるのに乗らないのか?」と。また、ご主人がロバに乗って、奥様が歩いていると言われるそうです「威張った旦那だ」。奥様がロバに乗って、ご主人が歩いていると言われるそうです「あの旦那さんは奥さんに頭が上がらない」。夫婦揃ってロバに乗っていると言われるそうです「ロバがかわいそうだ」と。
「事実の一つ、解釈は無限」という言葉の通り、物事の捉え方によって、何をやっても揚げ足取りの批判をする事ができてしまいます。日本社会にこのような「ああ言えば、こう言う」と、何をやっても批判ばかりで、対案の無い非生産的な空気が漂っているのは、とても不幸で勿体ないことです。コロナ禍で日本社会が不寛容で息苦しい状態になっているように感じます。しかし、物事の良い面に注目すれば、どんな現実であってもポジティブに受け入れることも可能です。
貴船福祉ケアセンター広報委員会 岡本